

「海外子会社 立て直しスペシャリスト： 海外駐在20年以上、悪戦苦闘 日本人1人 VS 現地社員」

キーワードはBe aggressive。

Fujifilmが、デジタルカメラの普及により、基幹商品であるカラーフィルムの販売を急速に失い、会社存続さえ危ぶまれた2000年以降、弱体化する海外販売現地法人の社長として、組織改定、人員削減、従業員のモチベーションアップ等の諸策により、見事立て直しに成功した経験談をお話しいたします。

■日時：2019年 **11**月 **13**日(水) 11:10~12:40

■場所：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス B号館302教室

■講師：**藤井 宏尚** (ふじい ひろなお)氏

元富士フィルム 東欧地域統括社長 イベリア地域統括社長

■参加費：無料
(一般参加可、申込手続不要)

■備考：この講演会は経済学部 経済事情C(2011)
Economic Affairs C (担当:Anna Schrade准教授)の
授業を兼ねる

■講師略歴：

1976年に関西学院大学経済学部を卒業後、同年富士フィルム入社、海外営業本部配属。
1987年から1995年までニューヨークに駐在、Fujifilm USAに勤務。1995年に帰国後、輸出第一部に配属、
2002年に部長に就任。2005年からタイを皮切りに、スペイン、ポルトガル、デンマーク、ポーランドの現地法人
社長として、問題を抱える現地法人の立て直しを遂行。2016年に現役を引退。